

事業所における自己評価結果（公表）

評価対象職員は、児童発達支援管理責任者と正規直接処遇職員（クラス職員）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等の関係で適切である	12	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部屋の人数制限を設けて使用している。</li> <li>・時間差などで使用できるようにしている。</li> </ul>	一部屋当たりの利用定員は、制度に基づき運用しています。他、指導室以外を使用する際に、園児が余裕をもって過ごせるよう一部屋当たりの利用人数を決めて遊んだ絵もらうなどの対応をしています。
	② 職員の配置数は適切である	11	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの出席人数に応じ、各クラスの職員の配置をしている（パート）。</li> <li>・普段は適切であるが、休みが多いと大変な時がある。</li> <li>・余裕を持って1人が2人多くても良いと思います。</li> <li>・職員の人数が足りないと感じる場面がある（例：火・木曜日の園庭遊び）。</li> </ul>	職員の配置基準より上乗せした職員数を配置しています。園児の活動、遊びをより多く、楽しく過ごしてもらうために活動を多様化させる試みを行う時に、職員の不足感を感じることがあると思います。毎年のことですが、季節、月の様子を見ながら活動の改善とそれに携わる職員のバランスを継続して見直しを続けています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレキシブルに構造化できるようになっている。</li> </ul>	施設自体、建築から25年が経過し、破損している、古くなっているところが出始めていますので、ここ5年間で園児が使用するスペースを中心にリフォームをしています。園児の特性に応じた教室の環境設定は、毎年随時見直しをしております。清掃については、より細やかに実施できるよう職員同士の協力、業務内容の見直しを継続して行きたいと考えます。

業 務 改 善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	11	0		
	⑥	保護者等向けの評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	11	0	・保護者からの意見は、すぐに相談し対応している。	
	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		第3者評価については、現在実施しておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14	0	・web研修を行っている（パート）。	
適	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0	・ケース会議などで相談しながら進めている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	12	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	・毎月新しい活動を取り入れている。	

適切な支援の提供

⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	12	0		
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の変化や対応の仕方で気になることがあれば、職員と相談し対応策を考えている。</li> <li>・ 当番などで開始前必ずは難しいが、前日などに相談している。</li> <li>・ 当日の予定、活動内容、職員の動きを話し合っている。</li> <li>・ 月案作成時等に話し合いを行うようにしている。</li> </ul>	<p>クラス担任（正職員）間については、随時園児、クラス運営について話をすることができると考えています。正職員と非常勤職員との連絡、コミュニケーションについては時間を確保できている状況ではありません。時間外保育、送迎、療育時間などの時間の流れの中で、そういった時間をどのように確保していくのか大きな課題であると考えています。</p>
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて反省点や良かったことなどを話している</li> <li>・ 子どもが帰ってからの今日の様子を話し合って改善するところを話している</li> </ul>	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	12	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	12	0		
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	12	0		
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	9	0		
㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問看護師に毎日来ていただいている（昼食時）</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	10	0		
②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	13	0	・保育所等訪問などで、園の先生方とコミュニケーション計画を立てている	
②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0		
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	・定期的に作業療法士の方が来て、助言を受けている	近隣の、医療型児童発達支援センターから作業療法士の派遣を受け(月1回)、園児の遊びと体の使い方について、助言を受ける機会を設けています。 コロナウィルスなどの感染症の経過を見ながら、ほかの専門の方のスーパーバイズを受けられるよう検討をしているところです。
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	3	9	・現在検討中(コロナ前はやっていた) ・コロナがあり機会が減ってしまったが、また機会を作っていたら嬉しい ・現在は幼稚園との交流は行われていない。	法人内保育園と交流保育を行っていましたが、コロナウィルス流行により中止しております。令和6年度から再開できるか検討中です。
②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	5	4		高崎市では、協議会、子ども部会は開催されておりませんので、参加していません。
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	13	0	・連絡ノートを活用している	

③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	9	1		日々の療育の過程で、園児、保護者から提起されるも諸課題に対して、また支援目標の過程で保護者と話し愛をする過程が家族支援であると考えます。園児に対して保護者がどのように向き合うか、どのように接するべきかを生活レベルで具体的に一緒に考えることが保護者への支援と考え実践できるよう努めていきたいと考えています。
③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	13	0		
③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や電話などで直接保護者とお話ししながら進めている</li> <li>・書類を作成し確認してもらい、サインをしていただいている</li> </ul>	
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートを活用して適切な支援を行っている。</li> <li>・主任にも相談し情報共有しながら行っている。</li> </ul>	
③⑤	父母の会等の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜療育で保護者同士が話せる機会を作っている。</li> <li>・土曜療育時、保護者同士での話し合いの場を設けています。</li> </ul>	保護者会などは、保護者への負担が大きいという申し出もあり、休止しているところですが。土曜日の療育に数名ずつのグループ設定をして活動を行っています。職員がテーマを提供して懇談を行っています。保護者の園児に対する積極的な気づきや共有、支援の必要なこの子育てに必要な見立てや方略などを一緒に考えられる場にできればと思っています。

③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	13	0		
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	13	0	・お便りを発行	
③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している。	14	0		
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	13	0	・必要に応じてパートさんとも情報共有しながら進めている	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		多くの人の出入りは、園児によっては大きな緊張を生じさせてしまうことがあります。園の理解を地域の方にしてもらうことは必要であると考えますが、一日一日、園児が安定して活動に参加し、学習できることを優先して療育を進めたいと考えています。そのうえで、地域からのボランティア希望などには対応しております。
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	14	0		
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	15	0	・避難訓練を実施している ・月に1度、避難訓練を行っている	
④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握している。	15	0		

非常時等の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	13	0		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	12	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	14	0	・虐待防止の研修の受講や委員会を行っている	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	14	0		